

2019年3月期 決算概要 & 中期経営計画ローリング

2019年5月21日
フクダ電子株式会社



2019年3月期 決算概要 & 中期経営計画ローリングについてご説明します。

- 2019年3月期 決算概要
- 2020年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 中期業績目標
- 株主還元方針



1

本日の内容となります。

- 2019年3月期 決算概要
- 2020年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 中期業績目標
- 株主還元方針

2019年3月期 決算概要

2019年3月期 決算概要となります。

■ 業績は過去最高

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも過去最高

■ 基盤となる国内事業の強化

電子部門、ライフテック部門、コーリンいずれも順調に推移

■ 診療報酬改定による影響

ペースメーカー等、CPAPでマイナス影響

■ ペースメーカー等の仕入先変更

ボストン・サイエンティフィックジャパン社からバイオトロニックジャパン社へ

■ 継続した海外事業再編に向けた取組み

営業、管理体制の再構築

2019年3月期 決算サマリーです。

業績においては売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも過去最高となりました。

基盤となる国内事業の強化に取り組み、電子部門、ライフテック部門、コーリンいずれも順調に推移しました。

一方で、2018年度の診療報酬改定により、ペースメーカー等、CPAPにおいて業績に対してマイナスの影響がございました。

ペースメーカー等については、ボストン・サイエンティフィックジャパン社からバイオトロニックジャパン社へ仕入先を変更致しました。

海外事業再編に向けた取り組みとしましては、継続して営業、管理体制の再構築を図っております。

2019年3月期 決算概要



単位：億円	2018.03 (17年度)	2019.03 (18年度)	増減額	増減率
売上高	1,288	1,297	+8	+0.7%
営業利益	123	126	+3	+2.5%
経常利益	127	132	+5	+4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	93	95	+2	+2.8%

株式評価減に伴う法人税の戻りが約3億円

4

当社の2019年3月期の連結業績概要です。

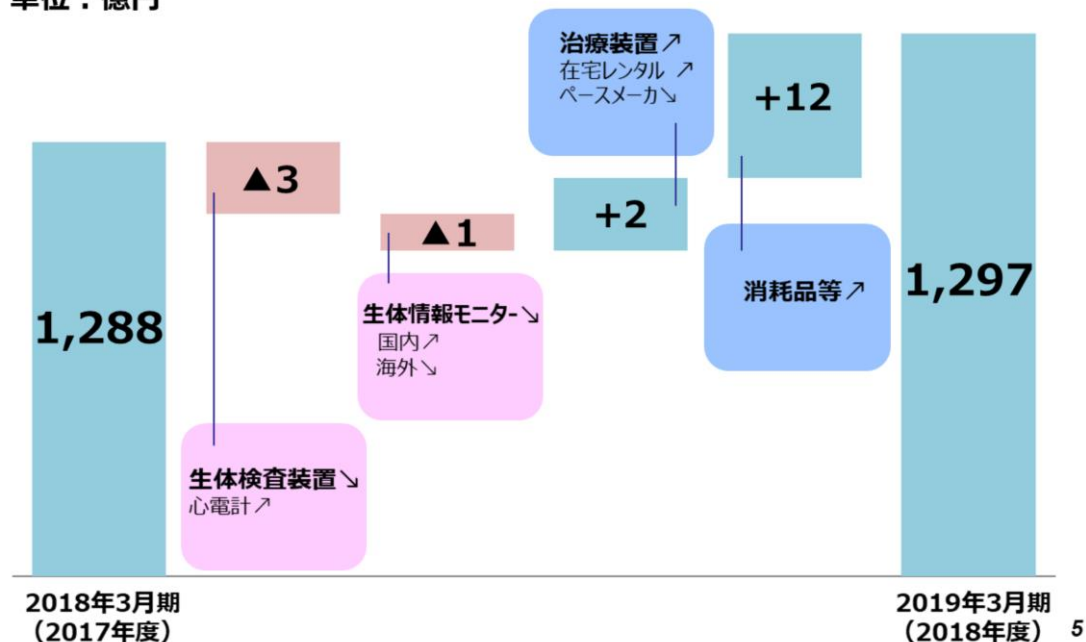
当連結会計年度におけるわが国経済は緩やかに拡大しているものの、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられ、先行きへの不安も依然残っております

医療機器業界においては、平成30年度診療報酬は全体としてマイナス改定となり、医療機関には引き続き効果的・効率的で質の高い医療の提供が求められております。

このような環境の中、当連結会計年度の連結売上高は1,297億75百万円（前年同期比0.7%増）となりました。利益につきましては、連結営業利益は126億45百万円（前年同期比2.5%増）、連結経常利益は132億88百万円（前年同期比4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は95億77百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

売上高の増減内訳

単位：億円



売上高の増減内訳になります。

生体検査装置部門の連結売上高は前年同期比▲3億円の減少となりました。

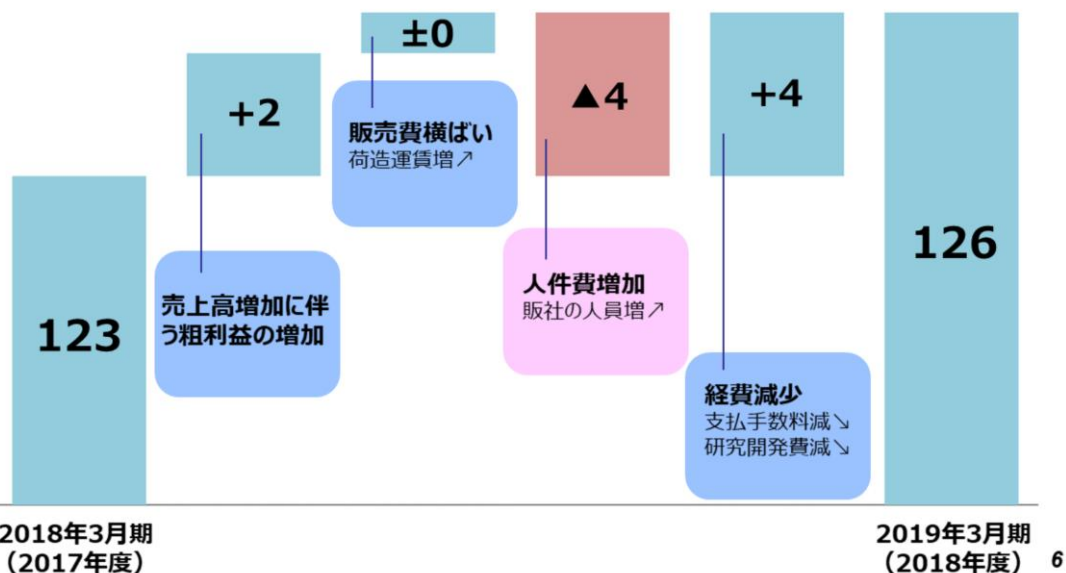
生体情報モニター部門の連結売上高は前年同期比▲1億円の減少となりました。

治療装置部門の連結売上高は前年同期比+2億円の増加となりました。

消耗品等部門の連結売上高は前年同期比+12億円の増加となりました。

営業利益の増減内訳

単位：億円



営業利益の増減内訳になります。

2018年度の営業利益は126億円となりました。

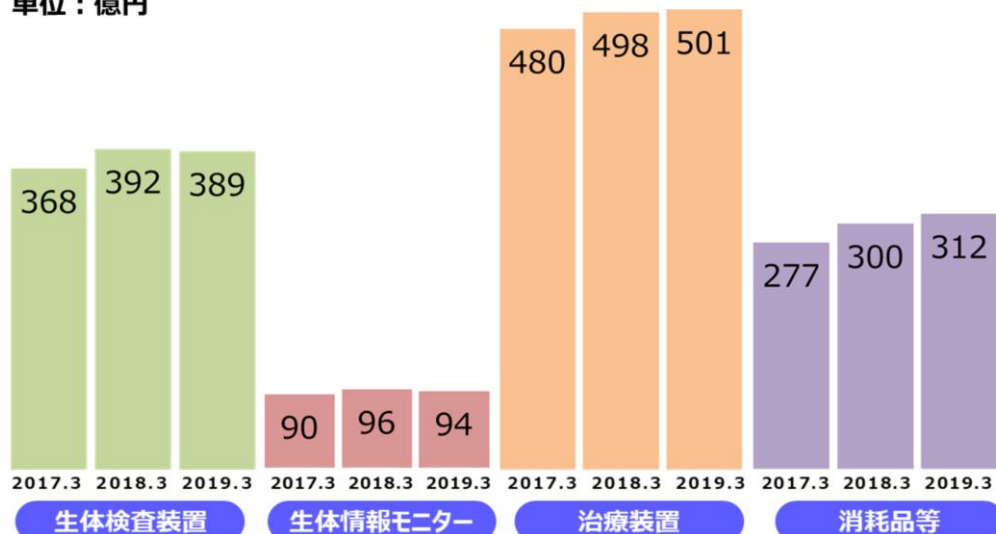
売上高増加に伴う粗利益の増加が+2億円となっております。

販管費におきましては、販売費は横ばいとなっておりますが、人件費が+4億円増加しております。

また支払手数料、研究開発費の減少により、経費は▲4億円減少しております。

セグメント別 売上高推移

単位：億円



在宅医療向けレンタル事業等の治療装置や消耗品等の売上が伸張し増収

7

セグメント別の売上高推移になります。

生体検査装置部門は、心電計関連の売上は伸張しましたが、大口商談の減少により連結売上高は389億12百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

生体情報モニター部門の連結売上高は94億75百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

治療装置部門は、ペースメーカー関連製品の売上は減少しましたが、在宅医療向けレンタル事業の売上は伸張し、連結売上高は501億3百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

消耗品等部門は、記録紙、ディスプレイ電極や上記各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守を含みます。

消耗品等部門の連結売上高は312億83百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

為替変動の業績への影響

通貨		2018.03 (17年度)	2019.03 (18年度)	2020.03 (19年度)
US \$	実勢レート	111円	110円	-
	社内レート	115円	115円	110円
ユーロ€	実勢レート	129円	128円	-
	社内レート	120円	135円	125円

為替感応度（1円円高の影響）

US \$ → 400万円のプラス
ユーロ€ → 1,300万円のプラス

8

為替変動の業績への影響については、US \$ が1円変動した場合は約400万円、ユーロ€が1円変動した場合は約1,300万円の影響がございませう。

なお、円高に推移した場合は、当社は輸入超過のため業績への影響はプラスになっています。

社内レートにつきましては、2020年3月期はUS \$ を110円、ユーロ€ を125円で設定してあります。

2020年3月期 業績予想



単位：億円	2019.03 (18年度)	2020.03 (19年度)	増減額	増減率
売上高	1,297	1,310	+13	+0.9%
営業利益	126	127	+1	+0.4%
経常利益	132	129	-3	-2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	92	-3	-3.9%
設備投資 (CFベース)	83	128	+45	
減価償却費 (CFベース)	78	86	+8	
研究開発費	23	41	+18	

2019年度は
受取配当金で
前期比減少
見込のため

9

2020年3月期 業績予想となります。

2020年3月期の売上高は前年同期比+0.9%増の1,310億円、営業利益は+0.4%増の127億円、経常利益は▲2.9%減の129億円、親会社株主に帰属する当期純利益は3.9%減の92億円を見込んでおります。

なお、経常利益につきましては、受取配当金で前期比減少見込のため減益予想となっておりますが、この要因を除くと増益を見込んでおります。

2020年3月期の設備投資 (CFベース) は前年同期比+45億円増の128億円、減価償却費 (CFベース) は+8億円増の86億円、研究開発費は+18億円増の41億円を見込んでおります。

設備投資につきましては、新社屋建設に伴う費用を見込んでおります。

中期経営計画

中期経営計画のローリングになります。

■ 地域医療構想（ビジョン）の策定・具体化

- ・2025年の医療需要、目指すべき医療提供体制（必要病床数等）と、それを実現するための施策

■ 消費税率の引き上げに伴う診療報酬改定（2019年10月）

- ・効率的かつ質の高い医療提供体制の構築
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・本体の改定+0.41%（医科+0.48%）
- ・公定償還価格の改定

■ ペースメーカー等の仕入先変更

- ・ボストン・サイエンティフィックジャパン社からバイオロニックジャパン社へ

■ 医療分野におけるICT化の流れ

- ・ネットワーク化による関係者の情報共有とデータの利活用

当社を取り巻く事業環境としては、少子高齢化に伴う社会保障制度改革やマクロ経済の動向などが挙げられます。

2025年の医療需要を見据えて、各都道府県において、あるべき医療提供体制の実現のための地域医療構想（ビジョン）の策定が実施されており、本年10月に予定されている消費税率の引き上げに伴う診療報酬改定においても、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」や「地域包括ケアシステムの構築」を目指した内容となっております。

改定率は本体+0.41%（医科は+0.48%）ですが、公定償還価格はマイナスの影響が予想されております。

ペースメーカー等はボストン・サイエンティフィックジャパン社からバイオロニックジャパン社へ仕入先を変更しております。

医療分野においては、ネットワーク化による関係者の情報共有とデータの利活用といったICT化の流れが押し寄せております。

社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、
医学の進歩に寄与する

世界のトップ心電計メーカーをめざす

フクダグループは運命共同体として
共通の目標を追求する

社員の自己啓発と人格形成に資し、
豊かな生活を建設する

12

当社の経営理念となります。

- ・社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する
- ・世界のトップ心電計メーカーをめざす
- ・フクダグループは運命共同体として共通の目標を追求する
- ・社員の自己啓発と人格形成に資し、豊かな生活を建設する

という経営理念の下、医用電子機器メーカーとして、安全・安心・快適を基軸とした「お客様に信頼される企業」となり、予防・検査～治療～経過観察・リハビリ～在宅・介護まで、地域医療を支える製品・サービスをご提供することを経営の基本方針として掲げております。

お客様第一主義を基軸に、新たな価値を生み出すと共に、電子、ライフテック、コーリンの協業強化により、さらなる成長を目指す

事業展開

- ・お客様軸での事業拡大
- ・グループの特徴を活かした事業展開

製品力

- ・開発力の強化
- ・新たな価値の創出

組織力

- ・働きがい改革
- ・グループ全体の生産性向上

当社は、経営環境の変化を踏まえ、経営理念、経営基本方針の下、「お客様第一主義を基軸に、新たな価値を生み出すと共に、電子、ライフテック、コーリンの協業強化により、さらなる成長を目指す」の中期経営ビジョンを、「事業展開」「製品力」「組織力」の3つのテーマで実現して参ります。

**予防・検査 → 治療 → 経過観察・リハビリ → 在宅・介護
一貫した医療環境を提供**



具体的な事業展開としては、従来の予防・検査→治療→経過観察・リハビリ→在宅に加え、介護分野へも領域を広げ、地域医療を支える一貫した当社独自のビジネスモデルにより、医療機関などにおける効率的な医療サービス実現を支援してまいります。

特にICT技術の活用することによって、救急、病院、診療所、在宅・介護の連携を深めると共に、フクダコーリン社によるオペ室へのアプローチの他、オムロンヘルスケア社との提携により、ヘルスケア分野とも連動した事業展開を推進して参ります。



当社の事業展開を、左から予防・検査、治療、経過観察・リハビリ、在宅・介護の領域の順で概観しております。

予防・検査分野では、心電計・ホルターや血圧脈波検査装置、心臓カテーテル用検査装置、超音波画像診断装置、電子式診断用スパイロメータなどの品揃えがございます。

治療分野においては、新規に投入した心臓用カテーテル型電極、PTCAカテーテル、ペースメーカ、AED、人工呼吸器、麻酔システムなどを取り扱っております。

経過観察・リハビリ分野では、生体情報モニタやテレメータ送信機、ホルター、心臓運動負荷モニタリングシステム、フクダコーリンのスポットチェックモニタなどを取り扱っております。

在宅・介護分野においては、酸素濃縮装置やパルスオキシメータ、在宅用人工呼吸器や睡眠時無呼吸症候群の検査・治療で使用する睡眠評価装置、持続的自動気道陽圧ユニットなどの製品に加え、介護分野においては安診ネットを取り扱っております。

さらに、この一貫した製品・サービスをICTで統合することができる、フクダクラウドサービスのご提供を進めて参ります。

動脈硬化測定と睡眠時無呼吸検査

血圧・血中脂質レベル・糖代謝などに加え、
睡眠時無呼吸が動脈硬化・心血管疾患の
新たなリスク因子として認識されています

高血圧

睡眠時
無呼吸

糖尿病

脂質異常

動脈硬化測定



血圧脈波検査装置
バセラ VS-2000



睡眠時無呼吸検査



睡眠評価装置
パルスリープ LS-140



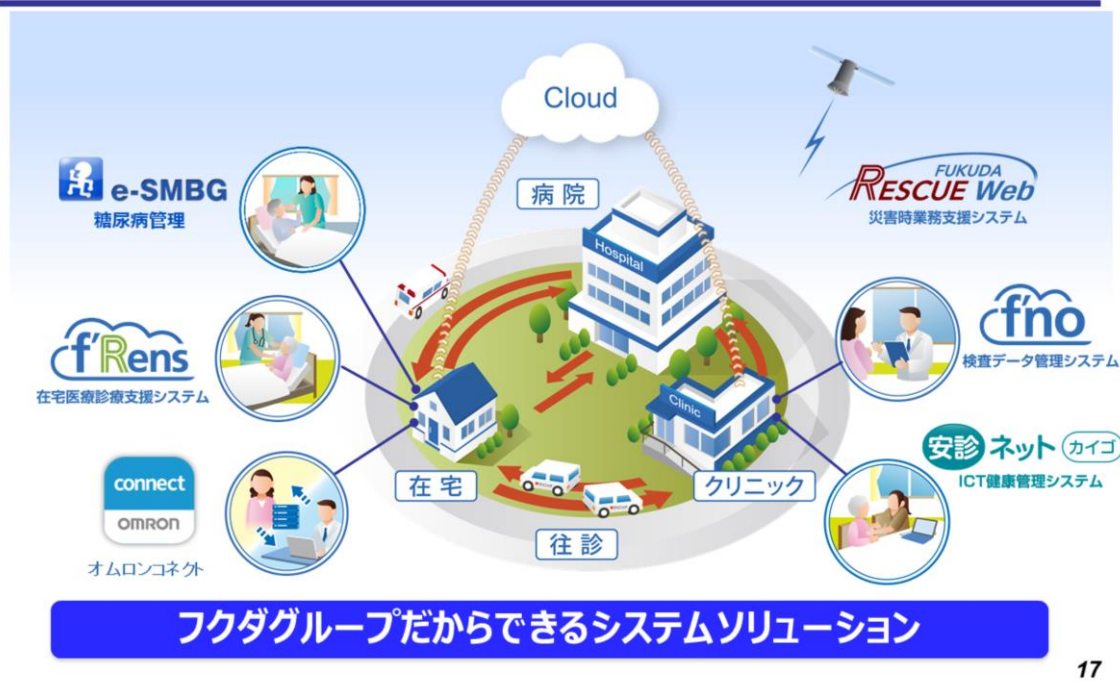
睡眠評価装置
ソムノタッチ RESP

フクダグループならではの多面的・総合的な提案

16

血圧・血中脂質レベル・糖代謝などに加え、睡眠時無呼吸が動脈硬化・心血管疾患の新たなリスク因子として認識されておりますが、フクダグループでは多面的・総合的に対応できる製品・サービスのラインナップを取り揃えております。

フクダグループのシステムソリューション紹介



フクダグループのシステムソリューションをご紹介します。

フクダクラウドサービスとは、クラウド上のデータセンターを利用し、外部のクラウドとも連動しながら、診療所から病院、在宅などの各種データを集約できる仕組みです。

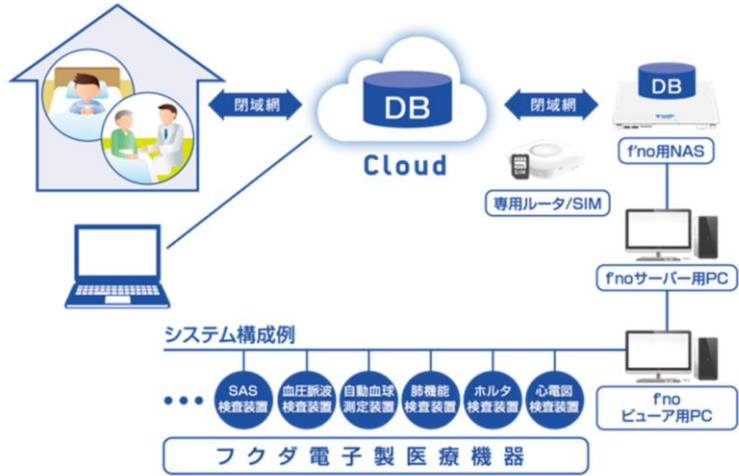
既に実現できているサービスとしては、クリニック向けのfno（エフノ）、在宅医療向けのF-Rens（フレンズ）、介護分野の安診ネット、オムロンヘルスケア社のオムロンコネクテとの連携となります。

クリニック向け データマネジメントシステム

検査データ管理

検査データ管理システム

クラウドを活用した検査データ管理システム“f'no(エフノ)”の導入で、患者さんのヘルスケア情報等を元にしたインフォームドコンセントを実現



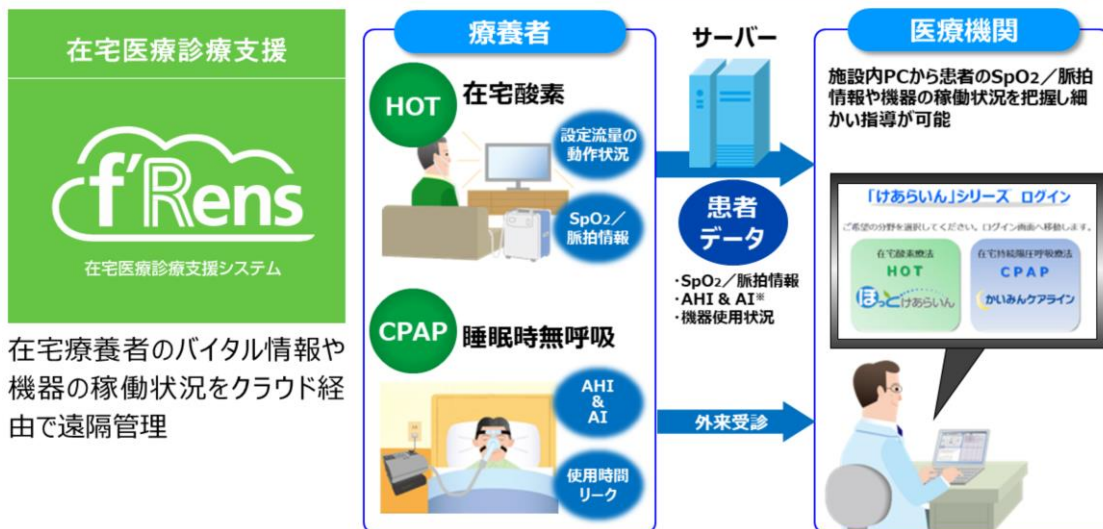
閉域網を利用したセキュアなネットワーク

クラウドを利用したデータマネジメントシステムf'no（エフノ）は、クリニック向けサービスとして販売をしております。

大きな特徴の一つが、インターネットを経由しない閉域網を利用して通信するため、高いセキュリティを確保できている点です。

また、検査結果や所見・レポート、ヘルスケア情報などを一元管理でき、クラウド側での自動バックアップや、ソフトの自動アップデートなどを実現しています。

遠隔モニタリングシステム f'Rens (フレンズ)



クラウド利用によるデータ管理でより質の高い医療を提供

※ AHI & AI : 1時間あたりの無呼吸および低呼吸の数 (AHI) および1時間あたりの無呼吸の数 (AI)

19

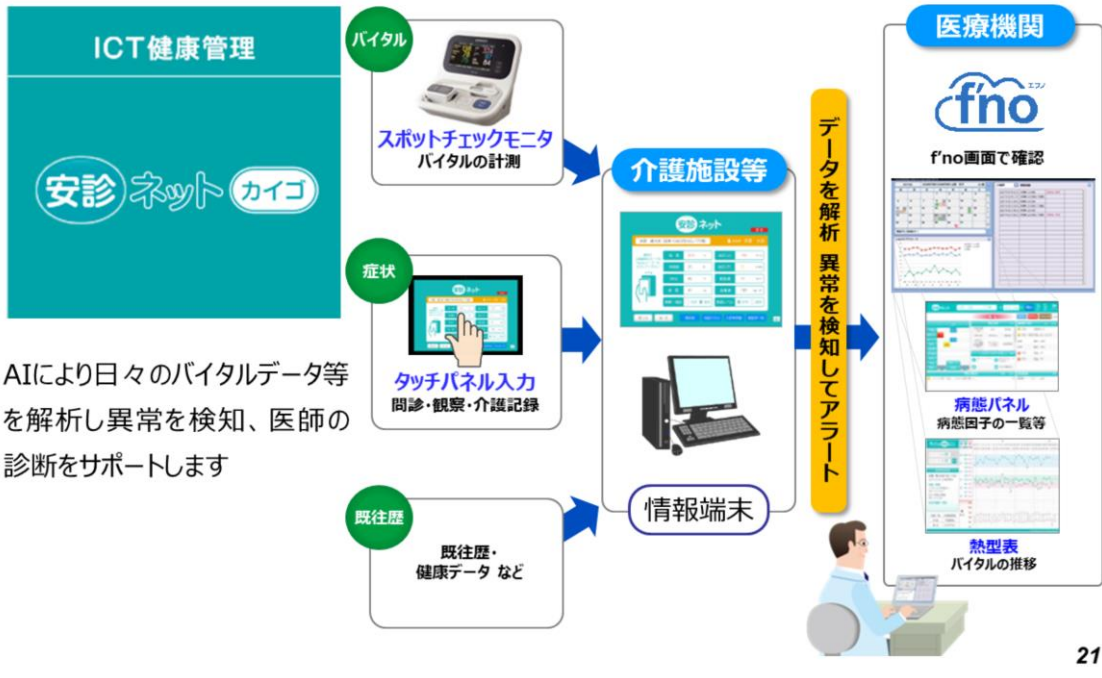
在宅向けのクラウドサービスとしては、IoTを利用したHOTA・CPAPの遠隔モニタリングサービスF-Rens (フレンズ) をご提供しています。従来からご提供していた在宅酸素分野における、SpO₂、脈拍、機器の使用状況のデータの他、睡眠時無呼吸分野においても、AHI & AI、機器情報を医療機関にて遠隔モニタリングできる仕組みとなっています。

家庭内血圧を医療機関で把握

フクダ電子とオムロンヘルスケア両社がクラウド間で連携
 医師が“f’no（エフノ）”から、患者さんが測定した
 家庭内血圧を確認できるようになりました



オムロンコネクとは、オムロンヘルスケア社の血圧計で測定したデータをスマホで管理できるアプリです。
 f’no（エフノ）を利用して、医療機関にも患者様のデータを共有できるサービスを提供しております。



介護分野においては「安診ネット」を新たにご提供しています。
介護施設などで登録されたバイタル、症状、既往歴などの情報を基に、AIがデータを解析、異常を検知してアラートを出すシステムです。
バイタル測定には、スポットチェックモニタを使用します。
患者さん一人ひとりの状態に合わせて、テーラーメイドで異常検出を行うことで、病気の重篤化を予防します。
f'no（エフノ）と連携し同じ画面の中で、安診ネットのデータをそのまま閲覧することができます。

災害時業務支援



フクダレスキューウェブは、在宅療養者に“安全”と“安心”をお届けする災害時業務支援システムです



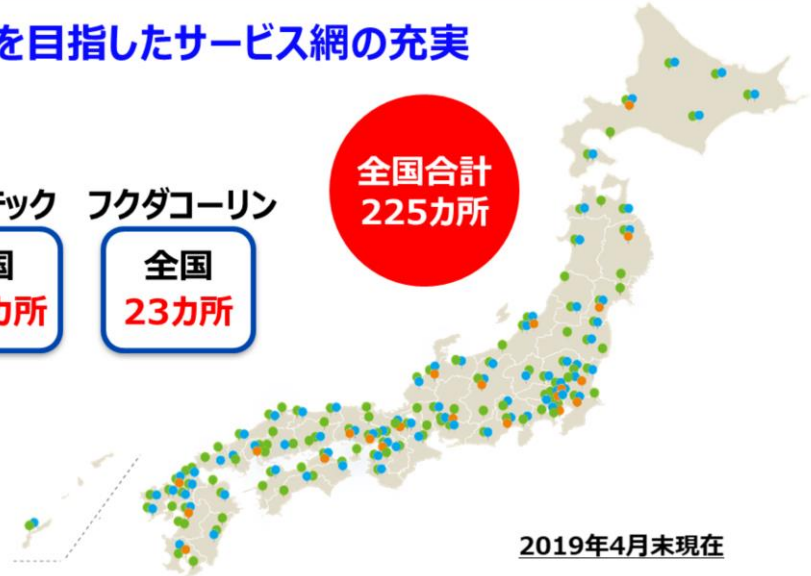
22

災害時業務支援 フクダレスキューウェブをご紹介します。
震度5以上の地震が起きると自動的に起動されます。
地震直後には社員へ安否確認メールが自動送信され、社員がメールに返信することで即座に安否が確認できます。
被害の大きい地域には衛星回線を使用し、人工呼吸器や酸素濃縮器を使用されている、安否確認が必要な療養者が何名いるか瞬時に把握することが可能です。

より地域密着を目指したサービス網の充実

フクダ電子	ライフテック	フクダコーリン
全国 80カ所	全国 122カ所	全国 23カ所

全国合計
225カ所

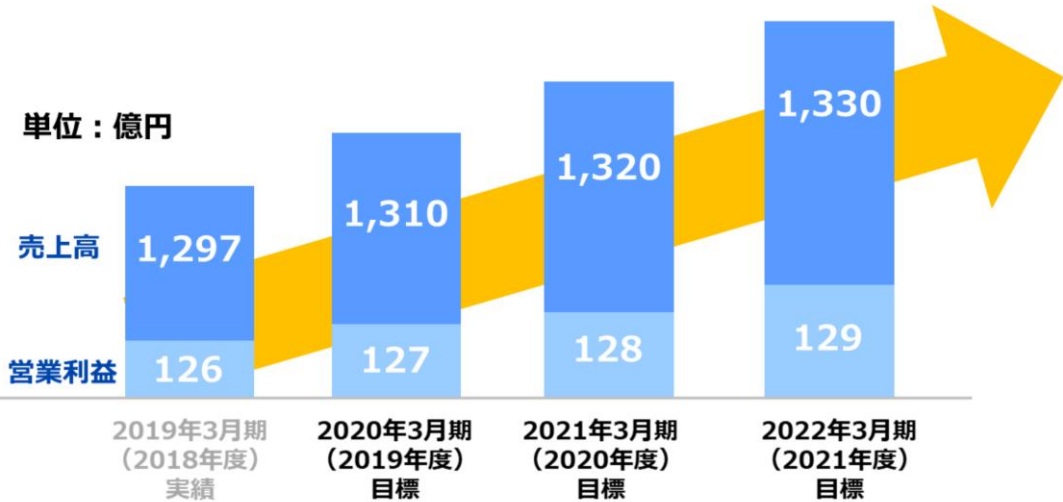


業界最多規模の国内拠点数

23

フクダグループの強みの一つが、フクダ電子およびフクダライフテックの拠点202カ所にフクダコーリンを加えた全国225カ所の、業界最多規模の国内拠点数です。

経営環境の変化に左右されない持続的成長を目指す



中期業績目標となります。

診療報酬の改定や消費税率引き上げなど経営環境の変化が想定されておりますが、そのような影響があっても変化に左右されない持続的成長を目指した目標を掲げております。

2020年3月期（2019年度）

売上高1,310億円、営業利益127億円

2021年3月期（2020年度）

売上高1,320億円、営業利益128億円

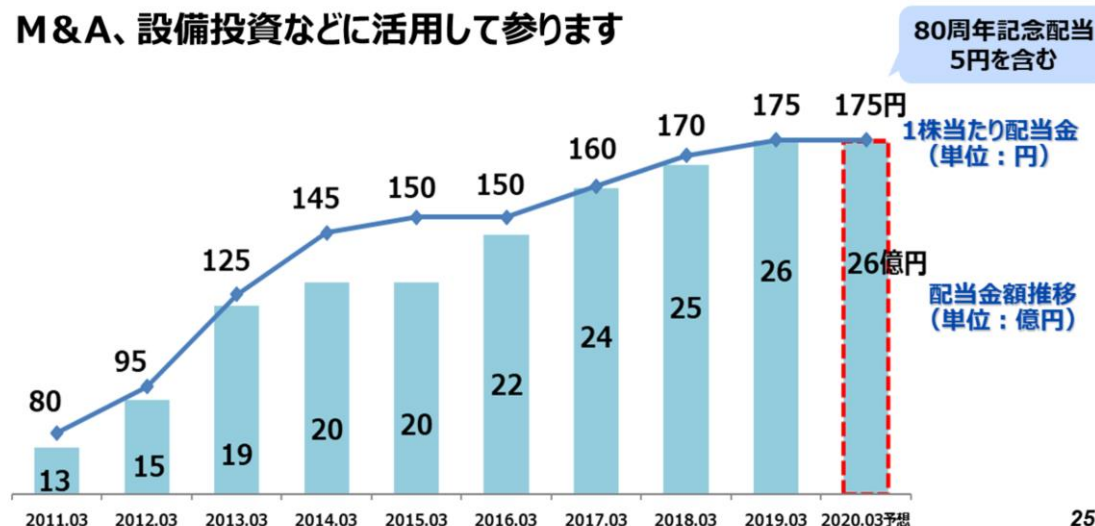
2022年3月期（2021年度）

売上高1,330億円、営業利益129億円

株主還元方針

配当性向を重視し、積極的、継続的な利益還元を実施
連結当期純利益を基準に配当性向30%を目標とします

また、残りの内部留保については、新たな事業に向けた戦略投資費用、
M&A、設備投資などに活用して参ります



25

株主還元方針といたしましては、配当性向を重視し積極的、継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

連結配当性向は30%を目標としており、利益の増加などに伴い配当金は増額となっております。

また、残りの内部留保については、新たな事業に向けた戦略投資費用、M&A、設備投資などに活用して参ります。

2019年3月期の期末配当金は、1株当たり60円の普通配当に加え40円の特別配当を予定しておりましたが、通期の親会社に帰属する当期純利益が前回公表した予測数値を上回ったことから、過去最高益達成記念配当として5円を加えた合計105円とし、年間配当金は175円となります。

また、2020年3月期は80周年記念配当5円を含めた、年間配当金175円を予定しております。

会社概要

2019年3月末現在

社名	フクダ電子株式会社 FUKUDA DENSHI CO., LTD.
本社	東京都文京区本郷三丁目39番4号
代表者	代表取締役会長 福田 孝太郎 代表取締役社長 白井 大治郎
設立	1948年7月6日（昭和23年）
資本金	46億2,160万円（授權株式数 7,800万株）
事業内容	医用電子機器の開発・製造・販売および輸出入
従業員数	連結：3,757名（内 嘱託・パート 636名） 単体：744名（内 嘱託・パート 115名）
株式	東京証券取引所 JASDAQ上場（証券コード 6960）

コーポレートガバナンスへの取り組み

基本方針	<p>当社は、日々変化する経営環境を的確に把握し対応するとともに、継続的な企業価値の向上、健全で透明性の高い効率的な経営を実現する上で、コーポレート・ガバナンス（企業統治）は経営上最も重要な課題のひとつと位置付けております。</p> <p>経営の意思決定や監督と業務執行の分離化を図ることで、迅速かつ効率的な経営を実現し、戦略性と機動性に富んだ経営活動を行うことを基本方針としております。</p> <p>「社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する。」を理念に掲げ、「CSR（企業の社会的責任）」への取り組み、各ステークホルダーとの信頼関係を構築し、企業価値の向上に努めていきたいと考えております。</p>
------	---

【お断り】

この資料に記載されております業績予想数値は、当社および当社グループの事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を及ぼす要因について、現時点で入手可能な情報に基づいての見通しであり将来に亘る部分については、皆様の投資のご参考に資するために、ご提供をさせて頂くものです。

同数値については市況、競争状況、新製品および商品の投入状況など多くの不確実な要因の影響を受け予想と異なる結果になることが有るため、保証をお約束するものではありません。

この資料に関するお問合せは、下記にお願い致します

経営企画部：鈴木・松本

TEL：03-5684-1558 FAX：03-5684-1577

email：info@fukuda.co.jp

フクダ電子株式会社

〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号

2019年5月 決算説明会資料 証券コード：6960 Copyright 2019 Fukuda Denshi Co., Ltd. All right reserved